


【件名】	白子川護岸整備工事（その105の7）	【事務所名】	第四建設事務所	
【工事場所】	東京都板橋区三園二丁目地内	【受注者名】	株式会社共栄	
【工期】	令和3年3月22日から令和4年2月22日まで	【主たる技術者名】	現場代理人兼監理技術者 窪田 康	

【工事概要】

白子川において、1時間当たり50mmの降雨に対処する護岸改修工事を行った。

工事延長 L=186.8m
護岸嵩上げ工 L=160m
管理用通路工、擁壁工 等

【表彰理由】（※発注者側評価）

狭隘な現場のため、現場内は常に整理整頓するとともに、掘削土を土のうに入れ並べるなど、資機材の保管を工夫し、作業スペースを確保して施工を行った。

また、新型コロナウイルス対策として、全作業員に抗原検査を実施し、現場での感染症対策を行うなど、危機意識をもって安全管理を実施した。



施工前



施工後

【受注者の声】

◇ 苦労した点

当工事箇所が非常に狭かったため、資機材の搬入・工事施工ヤードが限られており、施工順序等の工程管理に苦労しました。

◇ 特に工夫した点

埋戻し土を大型土嚢にて仮置きし、施工ヤードを確保しました。
またコロナ禍での工事であったため、新規入場者教育時に、全作業員に抗原検査を実施し、新型コロナ感染症対策を行いました。

◇ 現場で得られたやりがいや達成感

限られた施工ヤードの中、工夫しながら施工を行い工期内に無事故、無災害で工事を完成できたことと、工事完了後に近隣住民の方々から綺麗になったとお礼の言葉を頂き、今までの苦労が報われました。

◇ 建設業の将来を担う若手技術者や学生に対し伝えたいこと

現場では様々な業種の作業員と試行錯誤を重ね、一つのものを造ることの達成感、また完成したものが形としてのこる充実感、こんなにやりがいのある仕事は他にはないと思っています。



埋め戻しに使用する現場発生土の仮置き状況